

事業系食品ロスにかかる指標について

1. 豊島区の事業系食品ロス量の推計について

東京都が公開している食品ロス量から、東京都の事業者数と豊島区の事業者数の比率で以下のとおり、豊島区の食品ロス量を推計する。

①事業者数は H28（2016）年経済センサスの数値を活用する。

〈東京都事業者数〉

宿泊・飲食サービス業 （＝外食サービス業）	卸売業・小売業	製造業	計
89,160	150,728	43,569	283,457

〈豊島区事業者数〉

宿泊・飲食サービス業 （＝外食サービス業）	卸売業・小売業	製造業	計
3,034	4,498	787	8,319

②東京都と豊島区の事業者数の比率を使って豊島区の事業系食品ロス量を推計。

〈H29（2017年）東京都食品ロス量（t）〉

外食サービス	卸売業・小売業	製造業	計
282,000	88,000	15,000	385,000

〈H29（2017年）豊島区食品ロス量推計（t）〉

外食サービス	卸売業・小売業	製造業	計
9,596	2,626	271	12,493

（裏面に続く）

2. 事業系食品ロスにかかる豊島区の目標値について（案）

東京都の2030年の事業系食品ロス量目標は38万トン（家庭系食品ロス量含む）である。
都内の食品ロスは事業系が全体の約6割を占めるため、22.8万トン（ $=38\text{万トン} \times 0.6$ ）
が2030年の事業系食品ロス量の目標としていると設定する。

2030年の都の事業系食品ロス量の目標22.8万トンはH29（2017）年の都の事業系食品
ロス量の実績38.5万トンから約40%削減することとなる。

〈東京都の目標値〉

2017年（実績）	2030年（目標）	削減率
38.5万トン	22.8万トン	約40%削減

〈豊島区の目標値〉

2017年（推計）	2030年（目標）	削減率
12,493トン	7,496トン	約40%削減